

問1 EU（欧州連合）では、2000年代以降に東欧諸国が相次いで加盟したことにより、加盟国間での経済状況の違いが大きな課題となっています。各国の経済水準を比較する際に指標として用いられる、国民1人あたりの生産額を示す統計数値を何と言いますか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 一人当たりの国内総生産（GDP） 2. 国民総所得（GNI） 3. 実質経済成長率 4. 消費者物価指数

問2 フランスなどのEU加盟国の多くでは、隣り合う国との境界において、パスポートの提示といった厳しい審査を受けることなく自由に国境を通過することができます。このような「移動の自由」が保障されている背景にある、EUの主な目的は何ですか。

（2022年 奈良公立入試 類似）

1. 域内での労働力の移動や観光を活性化させ、経済や社会の統合を深めるため。 2. 全ての加盟国で公用語を統一し、各国の文化的な差をなくすため。 3. 国境付近に軍隊を配置することで、域外からの不法入国を軍事的に防ぐため。 4. 各国が独自の関税を設定し、特定の国内産業を保護する権利を強化するため。

問3 北ヨーロッパのスカンジナビア半島沿岸に見られる、非常に複雑に入り組んだ海岸線を持つ「フィヨルド」の成り立ちについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 氷河によって削られたU字型の深い谷に、海水が深く入り込んで形成された。 2. 河川による侵食で形成されたV字型の谷が、地盤の沈降によって海に沈んで形成された。 3. 石灰岩が二酸化炭素を含む雨水によって溶かされ、その窪地に海水が入り込んで形成された。 4. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、長い年月をかけて陸地が海へ突き出して形成された。

問4 地中海沿岸の地域において、オリーブやブドウといった果樹栽培が伝統的に盛んである理由について、気候の観点から説明したものと最も適切なものはどれですか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. 夏の時期に降水量が極端に少なく乾燥するため、乾燥に強い性質を持つ樹木を選ぶ必要があるから 2. 夏に連日激しいスコールが降るため、多湿な環境でも根腐れしにくい作物を選ぶ必要があるから 3. 冬の寒さが極めて厳しいため、冬を越せる耐寒性の強い永年性の果樹を植える必要があるから 4. 一年を通じて高温多湿であり、果実の成長が非常に早いから、収穫効率が良いから

問5 ヨーロッパ北西部の沿岸部は、日本の北海道よりも高い緯度に位置していますが、冬の寒さは比較的穏やかで過ごしやすい気候となっています。このような気候が形成される要因として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 香川公立入試 類似）

1. 高緯度へ向かって流れる暖流の北大西洋海流と、その上空を一年中吹く偏西風の影響を受けるため 2. 低緯度から流れてくる寒流の千島海流と、夏に海から吹き込む季節風の影響を受けるため 3. 大陸から吹き出す乾燥した季節風と、沿岸を流れる寒流の影響で上昇気流が発生しにくいから 4. 赤道付近から一年中吹き続ける貿易風が、熱帯の湿った空気を常に運んでくるため

問6 ヨーロッパ南部の文化や産業について述べた文として、ラテン系言語が話されている地域の特徴に合致するものはどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. フランス語などが話され、地中海式農業によってオリーブなどが栽培されている。 2. ドイツ語などが話され、涼しい気候を利用したライ麦の栽培や酪農が盛んである。 3. ロシア語などが話され、東方正教を信仰する人々が広大な平原で小麦を栽培している。 4. 英語などが話され、プロテスタントの信仰とともに混合農業が広く行われている。

問7 農産物の生産統計において、第1位がスペイン、第2位がギリシャ、第3位がイタリアとなっている作物の特徴として最も適切なものはどれか。なお、この作物は地中海沿岸地域が原産であるとする。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. 果実は食用とされるほか、油をしぼって料理などに広く利用される 2. エジプトやイランなどの乾燥帯で主に栽培され、貴重な保存食となる 3. コートジボワールやガーナなどの低緯度地域で栽培され、菓子の原料となる 4. 東南アジアなどの熱帯地域で栽培され、タイヤなどの工業製品の原料となる

問8 ノルウェーはアルミニウムの主な原料となるボーキサイトを自国で産出せず輸入に頼っていますが、アルミニウム工業が国の主要な産業となっています。この産業が発達した理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 精錬に必要な膨大な電力を、安価な水力発電で供給できるため 2. 北海から産出される質の高い石炭を精錬の燃料に利用できるため 3. フィヨルドの平坦な沿岸部に、大規模な工場用地が確保しやすいため 4. チタンや鉄鉱石と混ぜ合わせることで、低温での精錬が可能になるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一人当たりの国内総生産（GDP）	EUの拡大に伴い、比較的経済発展が遅れていた東欧諸国が加盟したことで、西欧・北欧の古くからの加盟国との間で「一人当たりの国内総生産」に大きな差が生じています。この経済的格差は、EU内での労働力の移動や、工場の移転先選定など、域内の経済活動に大きな影響を与える要因となっています。
問2	答え 1 域内での労働力の移動や観光を活性化させ、経済や社会の統合を深めるため。	EU（欧州連合）は、モノ・サービス・資本に加えて「人」の移動を自由にするすることで、加盟国全体を一つの大きな市場や社会として機能させることを目指しています。国境を越える際の心理的・時間的な壁を取り払うことは、経済の活性化だけでなく、ヨーロッパ市民としての連帯感を高める役割も果たしています。
問3	答え 1 氷河によって削られたU字型の深い谷に、海水が深く入り込んで形成された。	フィヨルドは、過去の氷河期に巨大な氷の塊が山を削り、その後、海面が変化して海水が入り込むことで形成されました。選択肢にある「河川による侵食で形成されたV字型の谷が海に沈んだもの」はリアス海岸（三陸海岸や志摩半島など）の説明であり、フィヨルドとは形成要因が「氷河」か「河川」かという点で明確に異なります。
問4	答え 1 夏の時期に降水量が極端に少なく乾燥するため、乾燥に強い性質を持つ樹木を選ぶ必要があるから	地中海性気候の大きな特色は「夏に乾燥し、冬に雨が降る」という点にあります。一般的な農作物の成長期である夏に雨が少ないため、水分を逃がさない厚い葉を持つオリーブや、深く根を張るブドウといった、厳しい乾燥に耐えられる作物を選んで栽培する地中海式農業が発達しました。
問5	答え 1 高緯度へ向かって流れる暖流の北大西洋海流と、その上空を一年中吹く偏西風の影響を受けるため	ヨーロッパの気候を理解する上で、暖流と偏西風の組み合わせは非常に重要です。低緯度から北上してくる北大西洋海流（暖流）によって温められた空気は、一年中西から吹く偏西風に乗ってヨーロッパ大陸へと運ばれます。このため、緯度の高さのわりに冬の気温が下がりにくいという特徴があります。季節風（モンスーン）は日本を含む東アジアの気候に大きな影響を与えるものであり、ヨーロッパのこの現象とは異なります。
問6	答え 1 フランス語などが話され、地中海式農業によってオリーブなどが栽培されている。	ラテン系言語の圏内であるフランス、イタリア、スペインなどは地中海沿岸に位置し、夏の乾燥に強いオリーブやぶどう、オレンジなどを栽培する地中海式農業が盛んです。また、これらの地域では食文化においてオリーブ油が多用されるなどの共通点も見られます。
問7	答え 1 果実は食用とされるほか、油をしぼって料理などに広く利用される	スペイン、ギリシャ、イタリアは地中海沿岸に位置し、夏の乾燥に強いオリーブの栽培が非常に盛んです。オリーブは地中海料理に欠かせない食用油（オリーブオイル）の原料として世界中に輸出されています。選択肢にある「乾燥帯の保存食」はなつめやし、「菓子の原料」はカカオ豆、「工業製品の原料」は天然ゴムの説明です。
問8	答え 1 精錬に必要な膨大な電力を、安価な水力発電で供給できるため	アルミニウムの精錬には「電気の缶詰」と呼ばれるほど極めて大量の電力が必要となります。ノルウェーはフィヨルド特有の急峻な地形や湖の水を活用した水力発電が発達しており、安価で豊富な電力を得ることができるため、原料を輸入してでも国内で精錬を行う経済的な利点があります。